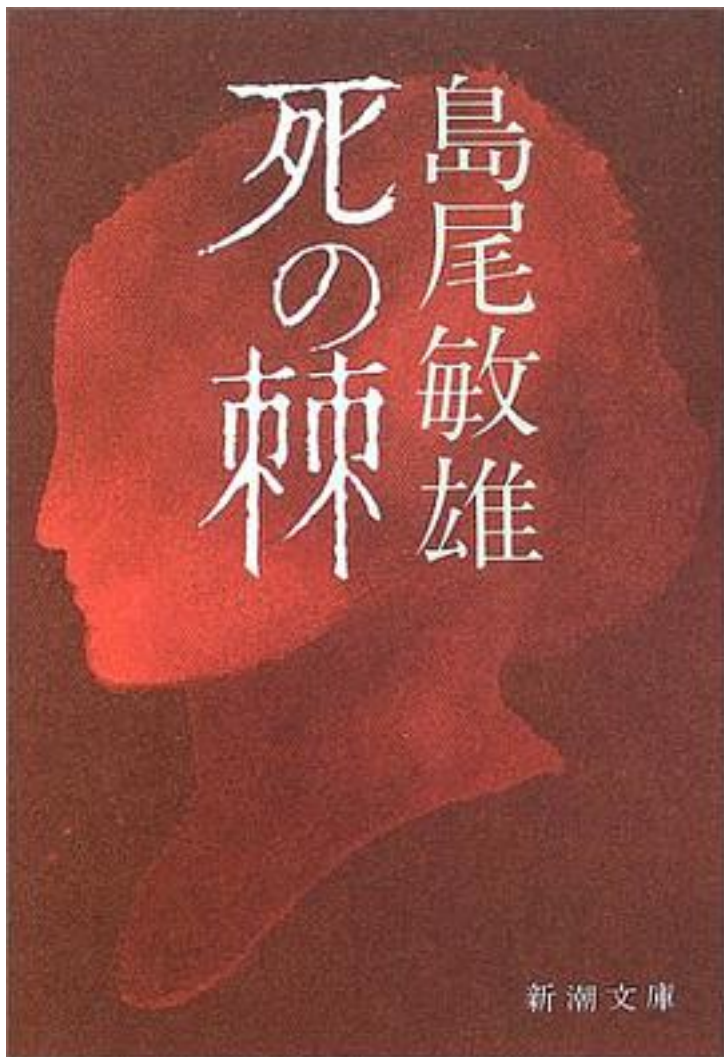


死の棘



[死の棘 下载链接1](#)

著者:島尾 敏雄

出版者:新潮社; 改版版

出版时间:1981/01

装帧:

isbn:9784101164038

思いやりの深かった妻が、夫の「情事」のために突然神経に異常を来たした。狂気のとりことなって憑かれたように夫の過去をあばきたてる妻、ひたすら詫び、許しを求める夫。日常の平穏な刻は止まり、現実は砕け散る。狂乱の果てに妻はどこへ行くのか?一ぎりぎりまで追いつめられた夫と妻の姿を生々しく描き、夫婦の絆とは何か、愛とは何かを底の底まで見据えた凄絶な人間記録。

作者介绍:

島尾 敏雄

1917 - 1986。横浜生れ。九大卒。1944年、第18震洋隊(特攻隊)の指揮官として奄美群島加計呂麻島に赴く。’45年8月13日に発動命令が下るが、発進命令がないままに15日の敗戦を迎える。’48年、『単独旅行者』を刊行し、新進作家として注目を集める。以後、私小説的方法によりながらも日本的リアリズムを超えた独自の作風を示す多くの名作を発表。代表作に『死の棘』(日本文学大賞・読売文学賞・芸術選奨)、『魚雷艇学生』(野間文芸賞・川端康成文学賞)など(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目录:

[死の棘 下载链接1](#)

标签

日本文学

島尾敏雄

女性

島尾敏雄

日本文學

日文原版

《厌女》

日本

评论

[死の棘_下载链接1](#)

书评

[死の棘_下载链接1](#)